

9/3 旗

原発止めるまで声あげ続ける

福井市

福井市の関西電力地域共生本部前で続く原発再稼働に対する抗議行動「命のレスキュー・ランチタイムアピール」が8月31日、開始から500回を迎えました。

首相官邸前の抗議行動に連帯して同市でも取り組まれている毎週

ランチタイムに関電前アピール

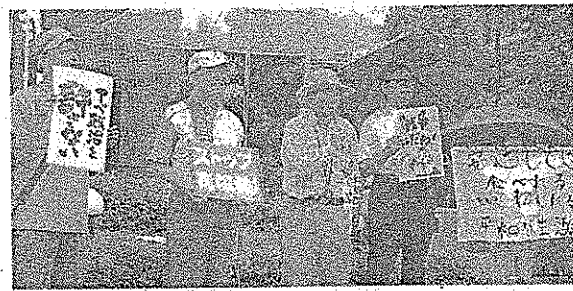
500回目

金曜日の抗議行動に参加する石森修一郎さん(68)「坂井市」や西村明宏さん(71)「福井市」らが2013年8月15日以来欠かさず平日昼時に取り組んでいるものです。

らに福井地裁が翌14年5月に同3、4号機の運転差し止め判決を、15年4月には高浜3、4号機(同県高浜町)の運転差し止め仮処分を決定しました。しかし、国民無視で再稼働や戦争法案を推進する安倍政権の下で、高浜原発再稼働に向けた動きは続き、今年8月には九州電力川内1号機

(鹿児島県薩摩川内市)の再稼働が強行されています。

石森さんは「原発再



アピールする(左2人目から)西村、石森、佐藤の各氏ら8月31日、福井市

稼働や戦争法案をとめ、廃炉、廃案にできるまで声を上げ続けま

す、西村さんは「未来の世代が安心して暮らせる社会を残すことは、今の時代を生きる者としての責任です」と訴えました。

この日の宣伝には、日本共産党の佐藤正雄県議が連帯して駆けつけました。